

平成28年度 行政評価 施策カルテ

施策名	5 地域情報化の推進
-----	------------

施策主管課	情報政策課	総合計画記載頁	162ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	VI 持続的発展が可能な都市の自治基盤を確立するために	政策名 (基本施策名)	24 行政経営基盤を強化する	政策の達成目標 (基本施策目標)	本市の行政運営を効果的・効率的に行うことで、行政経営基盤が強化されています。
------	-----------------------------	----------------	----------------	---------------------	--

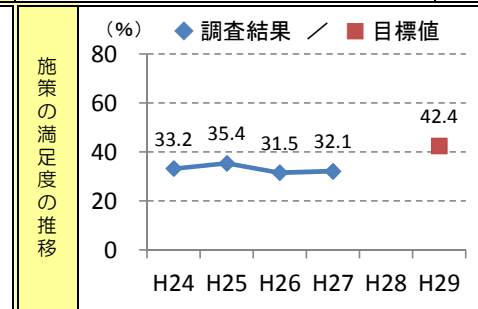
2 施策の取組状況

施策目標	ICTが有効に利活用され、行政サービスの利便性と行政経営の効率性が高まっています。
------	---

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果 指標3	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
	指標1	身近な行政手続きの電子化率(%)	単年度目標値	53.3	60.0	80.0	80.0	100.0			100.0	A	施策の満足度(%)	調査結果	33.2%	35.4%	31.5%	32.1%			
現状値			53.3%	実績値	53.3	60.0	66.7	73.3													
目標値(H29)			100%	単年度の達成度	100.0%	100.0%	83.4%	91.6%													
指標2		単年度目標値								【参考】中核市等との水準比較	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)		指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	B
			現状値	実績値	携帯電話普及率(%)		中核市平均	92.0	92.2				92.0	92.0							
					実績値	93.3	93.3	93.3	93.3												
	目標値(H29)	単年度の達成度	中核市での本市の順位		17位/41市中	18位/41市中	18位/42市中	19位/43市中													
			実績値	75.5	75.6	75.0	75.3														
	目標値(H29)	単年度の達成度	パソコン普及率(%)		中核市平均	75.5	75.6	75.0	75.3												
実績値			76.3	76.3	76.3	76.3															

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 逓減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調:(主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている:(C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	ICTの急速な進展に伴い、スマートフォンやタブレットなどの情報端末の普及やソーシャルメディアの利用が増加したことにより、情報収集手段やコミュニケーション方法が多様化するなど市民のライフスタイルが変化しており、行政へのニーズが高度化・多様化している。	市民満足度	市民が安全・安心な暮らしが送れるよう、ホームページやツイッターを活用し、防災対策や保健・福祉などの市民生活に身近な情報提供の充実強化を図ってきたところであり、また、電子納付の導入など市民生活の利便性の向上に向けた電子行政サービスの充実・強化を継続的に実施しており、市民満足度は同水準で推移している。	総合評価	83点
施策指標	電子行政サービス向上の取組として、既に導入している市税のコンビニ収納のほか、ATMやインターネットで納付が可能なペイジー収納を導入し、市民の利便性向上と徴収事務の効率化を図ってきたが、市税以外においても介護保険料のコンビニ収納を導入し、納付方法の拡充を行ったことにより身近な行政手続きの電子化率が向上している。				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H27事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	地域情報化計画の推進及び推進組織の運営	★	本市における計画的な地域情報化の推進	市民, 事業者	・第3次宇都宮地域情報化計画に係る施策事業の推進及び進行管理	計画どおり	138	H13		宇都宮地域情報化推進本部を主体とした庁内横断的な推進体制はもとより、県や関係機関等と連携を図り、学識経験者からの助言や推進チームを効果的に活用することにより、毎年度、重点施策を中心に進行管理を行い、計画的に地域情報化を推進している。随時、市民・事業者等の意見を反映できるように、各分野の関係団体で構成する宇都宮市地域情報化推進懇談会を設置し、施策と市民ニーズの調整を図ることにより、計画推進の実効性を確保する。
2	情報システムの最適化	★	効率的・効果的な行政運営の推進	市民, 事業者, 職員	・業務の効率化・高度化 ・共通基盤システムを活用した情報システムの共用	計画どおり	557,254	H23		宇都宮地域情報化推進本部を中心に検討を進め、情報システムの共用や運用統合等、業務及び情報システムの更なる効率化・高度化や情報システム維持管理経費の適正化を図ることにより、必要なICT投資、再投資を積極的に推進する。
3	行政サービスの電子化の推進	○★	行政手続きにおける利便性の向上	市民, 事業者	・身近な行政サービスの電子申請化の拡充 ・電子申請届出・電子納付サービスの導入検討	計画どおり	60,403	H19		身近な行政手続きの電子化の推進に当たっては、現在導入している施設予約システムなどの既存サービスの拡充や市税等のクレジット納付などの市民に身近で利便性向上に資する電子行政サービスの導入などについて検討するとともに、住民票や税証明等のコンビニ交付に向けた準備を進める。また、スマートフォン・タブレット端末の普及などのICTを取り巻く環境の変化を捉え、市民等のニーズを踏まえた新たな取組を研究していく。
4	地理情報システム(GIS)の整備	★	・地域・住民サービスの向上 ・業務の効率化・高度化	市民, 事業者, 職員	・地図を活用した市民への情報提供(拡充) ・地図の共有化による業務の効率化	計画どおり	14,358	H12		市民向け公開型GISについては、防災、観光の市民ニーズの高い情報や福祉、環境等の市民に身近な情報の提供を充実・強化するとともに、本市の重要施策に関連する情報を掲載するなど、総合計画を支えていく。 また、庁内に分散している個別GISの共用や運用統合を行い、維持管理経費の適正化や高度利用を推進していく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <p>◆ICTは進展がめざましく、新たな技術の普及・台頭により、行政に求められる要求水準が年々高くなってきている市民等のニーズや技術動向を踏まえながら進展するICTの恩恵を市民等が実感できるよう、市民等の視点に立った効果的な施策を推進する必要がある。(保健・福祉や産業分野などへのICTの利活用など)</p> <p>◆情報化の推進に当たっては、近年、サイバー犯罪などが多発している中、市民が安全に行政サービスを利用できるように情報セキュリティ対策の強化に配慮し、ICT利活用促進に向けた支援の充実を図っていく必要がある。この場合、高齢者や障がい者など、インターネットやパソコン等が利用できない市民(デジタルデバイド)に特に配慮する必要がある。</p>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 地域情報化の推進に当たっては、今後も継続して業務の効率化・高度化や情報システムの最適化などの行政情報化を進めるとともに、市民生活の利便性向上や地域の活性化につながる地域情報化の施策を推進していく。</p> <p>〈主要事業〉</p> <p>◆地域情報化の推進に当たっては、宇都宮地域情報化推進本部において施策全般の方向性を整理するとともに、推進チームにおける具体的な実施方策の検討状況、宇都宮地域情報化推進懇談会における各界各層の意見や宇都宮地域情報化推進専門委員の高度な知見を勘案しつつ、着実に施策の推進に取り組む。</p> <p>◆情報システム最適化の推進に当たっては、今後も厳しい財政状況が見込まれることから、経常経費の節減・合理化に資する取組を進め、構築システムの精査や構築費用の平準化、分散する情報システムの統合・集約などを検討し、必要なICT投資、再投資が可能になるような取組を推進する。</p> <p>◆行政サービスの電子化の推進に当たっては、スマートフォン・タブレット端末の普及などのICTの進展を踏まえ、既存サービスの拡充や新たな市民等のニーズに対応できる取組を展開していく。</p> <p>◆地理情報システムの推進に当たっては、市民向け公開型GISを効果的に活用しながら、防災情報や福祉情報など市民ニーズの高い情報の充実・強化を進めるとともに、庁内に分散している個別GISの共用や運用統合を行い、維持管理経費の削減や高度利用を推進していく。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>